

「一次救命処置の演習を通じた学びと習得の必要性」に関する研究のお知らせ

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って、

看護学科にて実施されるものです。

研究期間：2024年5月28日～2028年3月31日

〔研究課題〕

一次救命処置の演習を通じた学びと習得の必要性

〔研究目的〕

昨年度、本学板橋キャンパス シミュレーション教育研究センターにて開催された看護学生対象のBLS(一次救急救命処置)実施後のアンケート内容を整理・吟味し、今後の本学看護学科の一次救命処置教育の検討への活用を目的としています。

〔研究意義〕

看護教育における BLS(一次救命処置)の講義や演習は、学生に対し、正確な知識の提供やスキルの向上などのメリットがある。本研究は、今後の本学看護学科の BLS 教育の教育指針と方法を検討する機会をもたらすと考えます。

〔対象・研究方法〕

対象は、2024年3月25日(月)に開催された「BLS 講習会」にご参加いただき、3月25日(月)～4月5日(金)にアンケートにご協力いただいた医療技術学部看護学科 1～3 年生とします。研究方法は、アンケート内容に基づき、学生の視点から捉えた学びの内容と習得の必要性を明らかにし、今後本学看護学科の BLS 教育をはじめとするシミュレーション教育の在り方を検討します。研究参加は皆様の自由意思に委ねられています。

〔研究機関名〕

帝京大学医療技術学部看護学科

〔個人情報の取り扱い〕

本研究では、個人情報を含まないアンケートの回答結果を用います。そのため、拒否申し立てには対応できません。本研究におけるデータ・情報は、加工の上、研究に使用します。データ・情報は、研究責任者(情報管理責任者)の研究室で電子媒体に記録・保存し、施錠できる場所にて厳重に管理します。データ・情報を含む電子媒体は、本研究の終了を報告した日から10年を経過した日、又は本研究結果を公表した日から10年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保管致します。本研究で取り扱うデータ・情報は、本研究目的にのみ使用し、他の研究・研究機関への提供は致しません。

※対象となる方で、ご自身のアンケート記載内容の使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:三木 祐子(みき ゆうこ) (教授)

住所:〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医療技術学部看護学科

TEL:03-3964-1211(代表) [内線 41911]、E-mail:mikiy@med.teikyo-u.ac.jp